

## A. 施設一体型小中学校の施設配置の特色

## ①小中が共同利用しているケースが多い（学校規模により程度が異なる）

昇降口・校長室・職員室・図書室・音楽室・理科室・図工室・家庭科室・コンピュータ室・放送室・会議室・グラウンド・体育館（バスケットゴールなどの調整が必要）・プール（深さの調整が必要）（トイレの便器、机（椅子）などは高さ等の発達段階に応じた配慮が必要）

## ②新たに追加することが多いスペース

異学年交流スペース・地域（保護者）交流スペース・多目的スペース（教室）・ランチルーム

## B. 地域と共にある学校施設の整備

## ①保護者や地域住民との連携を進めるための活動の拠点づくり

- ・ロビーや地域交流スペースにおいて、談話・休憩等のための空間スペースを計画
- ・防犯対策を講じ安全性を確保した上で、地域に開放する施設や部分をゾーニングし、地域住民と協同利用できる施設として計画する
- ・旧校舎の写真や資料等を保存するための歴史コーナーを計画する

## ②他の施設との複合化

- ・放課後を豊かに過ごす施設（自習スペース、放課後学童クラブなど）
- ・生涯学習関連施設（図書館・公民館など）
- ・一般健康（娯楽）施設との併設（プール、フィットネス etc）

【参考】既存小・中学校の敷地面積 （単位：㎡）

北小	南小	中学校
28,521	30,935	20,110

※建物敷地+運動場+その他敷地（教職員寮含む）